

白井市内の社有地で来年3月運転開始 大規模太陽光発電施設建設へ

京葉ガスは6月29日、低炭素社会の実現に貢献することを目的に、白井市内の社有地に約2メガワットの太陽光発電施設を建設することを決定しました。来年3月の運転開始を目指します。

当社は平成25年までの3年間について定めた中期経営計画（平成22年12月策定）において「低炭素社会の実現に貢献」することを事業課題として掲げ、環境性の高い天然ガスの普及拡大などに取り組んでいます。再生可能エネルギーの太陽光発電について当社では、すでに家庭用のお客さまへの普及促進を図っていますが、事業課題に向けた取り組みを一層強化するため6月29日、社有地を活用した大規模な太陽光発電施設の建設を決定しました。

白井市内の約3万8千平方メートルの社有地（白井市根1808-1ほか）に約2メガワットの発電施設を建設し、来年3月に運転を開始する予定です。

